

八戸工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	保健体育 I B(0242)
科目基礎情報					
科目番号	0070		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	実技		単位の種別と単位数	学修単位: 1	
開設学科	産業システム工学科電気情報工学コース		対象学年	1	
開設期	後期		週時間数	1	
教科書/教材	ACTIVE SPORTS (大修館)				
担当教員	蝦名 謙一				
到達目標					
授業計画に明示されている運動スキルを習得し、各運動の競技運営と管理ができる					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	授業計画に明示されている運動スキルを理解・習得し、自主的に各運動の競技運営と管理ができる	授業計画に明示されている運動スキルを習得し、各運動の競技運営と管理ができる	授業計画に明示されている運動スキルを習得がみられず、各運動の競技運営と管理ができていない		
評価項目2					
評価項目3					
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達目標 A 学習・教育到達目標 D					
教育方法等					
概要	文部科学省新体力テストの実施を通して、生体の測定技術を理解し、人間工学の基礎技術を体得する。種々の競技種目の学習から、生涯教育としての体育の重要性を認識し、その基礎知識と基礎技術を体得する。				
授業の進め方・方法	1年次においては、主としてバレーボールと柔道の特性について理解し、技能と審判法を習得できるようにする。導入においては、十分なストレッチング、コンディショニングを実施し傷害予防とする。主運動では、用具の安全を確認し、実技の展開に入る。終わりに、環境を整え、次回への動機づけにする。各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて自主的、継続的に運動ができる資質や能力を兼ね備えた技術者を育てる。				
注意点	Tシャツ、ジャージの着用、ピアス、ネックレス、指輪等はずすなど、個人及び集団の安全に配慮し、率先して運動ができるよう留意すること。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	柔道 オリエンテーション (武道館)		
		2週	柔道 受け身① 後ろ・横・前		
		3週	柔道 受け身② 前まわり		
		4週	柔道 崩し(八方の崩し)、立技(大内刈り)		
		5週	柔道 立技(足払い、大外刈り)、打ち込み、乱取り		
		6週	柔道 立技(背負い投げ、体落とし)、打ち込み、乱取り		
		7週	柔道 技能試験 ①前まわり受け身、②取りと受け		
		8週	柔道 達成度評価アンケート 安全・衛生・心身発達の管理について理解を深め、自己管理能力の向上を図る。		
	4thQ	9週			
		10週			
		11週			
		12週			
		13週			
		14週			
		15週			
		16週			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		スキルテスト	平素の学習状況等	合計	
総合評価割合		60	40	100	
基礎的能力		60	40	100	
専門的能力		0	0	0	
分野横断的能力		0	0	0	